



九州大学伊都キャンパスに地域・学生・卒業生の交流施設「新亭々舎」の誕生

概要

この度、九州大学伊都キャンパスに新たな福利厚生施設となる「新亭々舎」の着工に至りました。当施設は、九州大学卒業生、大学関係者及び九州大学生生活協同組合からの多大なるご寄附とご協力を得て建設されるものです。

■背景・内容

かつて九州大学六本松キャンパスにあった学生集会所「亭々舎」^(※1)は、学科や部活・サークル等のコンパや合宿などに利用され、多くの九州大学生たちに将来を語らう場として、そして楽しくもほろ苦い経験をした場所として親しまれていました。こうした場を伊都キャンパスにも欲しいという思いが新亭々舎建設へ向けたプロジェクトのスタートでした。

平成22年のプロジェクトスタート時には、平成23年に九州大学が新たな100年を新キャンパスで迎えようとする時期でもあったため、在学生・教職員と地域の方々とのコミュニケーションの場として活用できる施設を卒業生が中心となって提供するというのも動機のひとつでした。

プロジェクトの遂行にあたっては、卒業生を中心とした一般社団法人九大OB相談のる研^(※2)が九州大学に関係する方々にご支援をお願いし、多くの個人、法人、同窓会などからのご寄附や活動内容の広報にご協力をいただきました。

九州大学農学部附属演習林からは、建設に向けて樹齢約100年の桧を含む約100本の木材を提供しました。また、六本松亭々舎の思い出を継承するため、解体前に建物の材料の一部を保存し、新亭々舎の部材として活用します。

<「新亭々舎」建築概要>

- ・構造・規模：木造 平屋建て 延べ床面積 約380㎡
- ・建設費：約6,000万円
- ・設計：有限会社 阪根宏彦計画設計事務所
- ・施工：株式会社 林建装
- ・着工時期：平成26年9月
- ・竣工時期：平成27年3月（予定）

■効果

六本松亭々舎の面影を継承することで文化と歴史を感じさせることをコンセプトに、新たな100年において交流と創造の拠点となるような空間を目指していきます。

(※1) 亭々舎

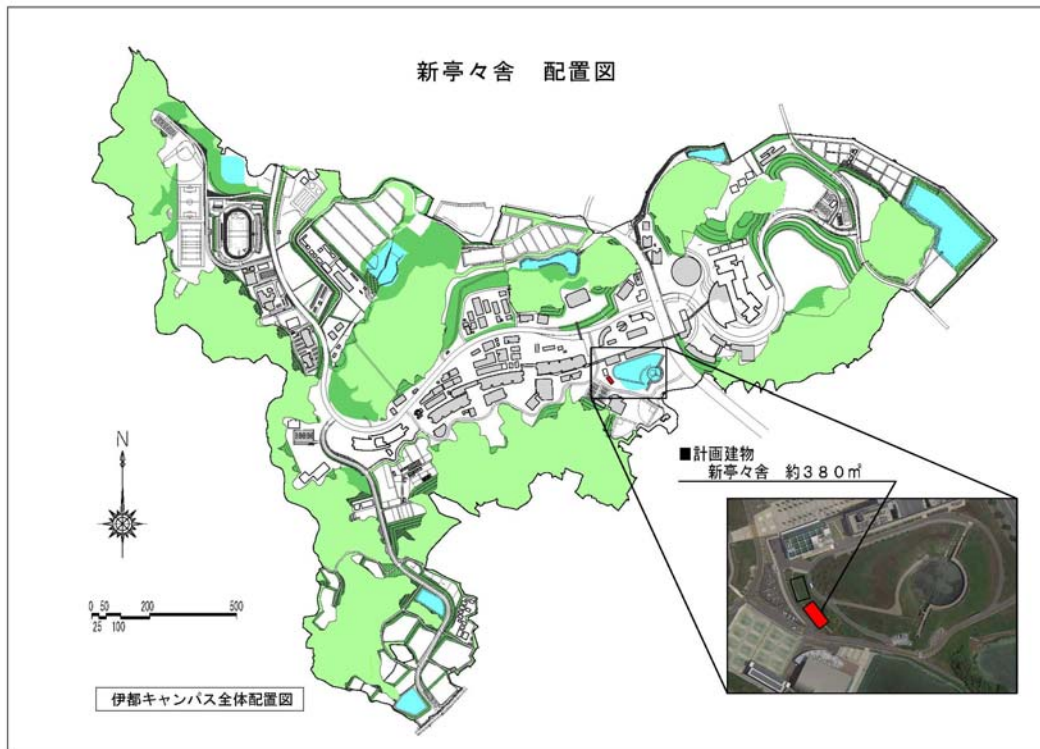
旧制福岡高等学校の寄宿舎の附属施設として大正12年に建設された建物。九州大学となってからは学生集会所として利用され、平成22年の解体までその姿を留めていました。

「亭々」とは「樹木が高くそびえ立つ様」のことであり、学生の成長への願いが込められています。

(※2) 一般社団法人九大OB相談のる研 (URL: <http://kuaclab.org/>)

九州大学のOB・OG及びその関係者で構成される一種のコンソーシアムブランドであり、各構成員のネットワークや専門のノウハウを活かし、主に福岡における地域の課題解決の糸口を提供することを活動理念としています。新亭々舎プロジェクトの企画・運営以外にも、学生による空き家改修プロジェクトの支援、学生の研究支援・就職支援、まちづくりのコンサルティングなどの活動実績があります。

<新亭々舎 配置図>



<完成予想図（東面）>



【お問い合わせ】

九州大学 企画部 統合移転推進課長 岡野
電話：092-802-2440
FAX：092-802-2439
Mail：kititenkacho@jimu.kyushu-u.ac.jp